

北欧の教育農場をモデルとした 放課後自然塾(仮)を開講する

活動地域 北海道

ひろげる助成

3年目

実践

いきもの塾受講者 **41人**

SNSでのリアクション **2,921件**

今年度計画の達成度 **90%**

全体計画の達成度 **65%**



馬耕で畑づくりや田植え・脱穀・収穫体験も

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

受講生が年度の途中で退会してしまうケースが3件あり、野外活動が難しくなる秋から冬にかけてのプログラム内容を充実させることや、年度途中の新規受講生募集に苦心した。

■工夫した点

秋から冬は活動報告展の準備を重点的に行った。制作が得意でない子には、畚割り等屋外での作業も用意。また、年度途中の入会希望者には、活動中の様子を見学いただいた。

課題

支笏洞爺国立公園を身近に有しながらも、観光優先で、地域住民の環境保全への意識も非常に低い。学校教育や社会教育活動においても十分な環境教育の場が提供されていない。

目標

年間を通して、より深く自然や生態系について学べる場づくり。観光や経済発展優先ではなく、環境問題を自分ごととして考えられる人々が地域のなかで増えるよう働きかける。

活動内容と成果

小学生以上を対象とした「いきもの塾」2年目。計41人の登録があり、昨年度と比較し13人の受講者増。1年を通し、体験型の環境教育を実践。地域の川や湖・海での野外活動を中心に生きものつながりやゴミ問題について学んだ。外来種のクサガメ計2匹を捕獲し、ペットを捨ててしまうことで起こる外来種問題についても学習した。受講生が作成した環境ポスターの掲示や活動報告展を通じて、環境問題について普及啓発も行った。また、環境教育テキストブックを作成し、1,000部印刷。今後、いきもの塾他学校教育現場等で活用予定。



春の生きものさがしで外来種クサガメ捕獲！

全助成期間の活動を振り返って

昨年度は、新型コロナウイルス禍で開講に遅れが生じ、長期休会する受講生もいる等様々な弊害があった。しかし、学校教育や社会活動はそれ以上に多くの制限があり、野外活動への需要はより高まっていると感じる。今こそ、実体験を通した学びが不可欠であり、子どもたちにとって将来何物にも代えがたい経験や自信に繋がると考える。また、毎週の継続した学習を通し、地域の自然の魅力に気づき、環境問題への理解が深まっていることを確信する。



テキストブック「つながるいきもの」発行

〒052-0005
北海道伊達市清住町47番地1
電話：080-1886-0698
E-mail：info@ikimonoinc.jp
HP：https://ikimonoinc.jp



今後の展望

いきもの塾の定員を増員し、更なる増収を図る。受講生による普及啓発やテキストブック配布を通して、地域全体の環境保全への意識向上につなげたい。ツリーハウスを活用した環境教育セミナーや上映会等のイベント開催、「公立学校以外の学びの場」、「より自由で、子どもの個性を伸ばす教育の場」としてフリースクールの開校も目指す。当面は各助成を活用してスモールスタートし、将来的に常設かつ採算可能な事業として成立させたい。